



# 日田博物ニュース

TEL 090-3987-3903

メールアドレス

[mimela@olive.plala.or.jp](mailto:mimela@olive.plala.or.jp)

発行責任者 佐々木茂美

## 雨の中、駅館川までスイバトビハムシを求めて採集行



宮本家の裏の駅館川河川敷の様子とスイバトビハムシが採れたギシギシ

135号で紹介したスイバトビハムシを採ろうと、6月12日(日)に遠路宇佐市の宮本剛くんを訪ねました。しかし、またしても大雨ですっかり「雨男」になってしまいました。でも、せっかくなので雨の中を川原に車を乗り入れ、ギシギシをビーティング。雨の中でも沢山のスイバ・ギシギシが採れました。久留米の今坂正一氏から「スイバ・ギシギシをすくうと採れるよ」と言われていたのですが「なるほど」いる所には沢山いることを実感しました。又、遠路はるばる宇佐市まで出向いたのに、先日大山町の旧役場の庭でも採れて拍子抜けしました。灯台下暮らしですね。



採集したスイバトビハムシ *Mantura clavareaui* シバオサゾウムシ *Sphenophorus venatus vestitus*(8mm) ハッカハムシ *Chrysolina exanthematica*

宮本くんの家の玄関先と裏の空き地にミントが植わっていて、食痕があるので「ハッカハムシがいると思うよ」と言っていたところ案の定ハッカハムシを採っていただきました。

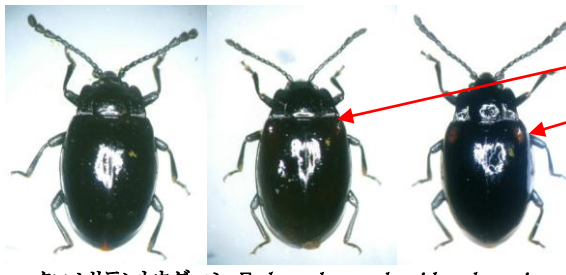
帰宅した頃、宇佐市は雨も上がり「夕刻に河原の草をスウィープしてゾウムシを採りました」と後日宮本くんから送られてきたのはシバオサゾウムシでした。北米原産の移入種で環境調査で県内数ヶ所の河川敷で採れており、他にも同好会員が県北部で採っていますが未発表のようです。三宅 武さんによると「増水しても水の中を動き回る水陸両用種」とのこと。外来種は強いですね。

## 今月採った体色変異3種

今月採集したキベリハムシ、クロリテントウダマシ、キスジテントウダマシに体色変異種がいたので紹介しておきます。



キベリクビボソハムシ *Lema adamsii* 体色変異種(裏面同)と通常型見つけ採りでしたが橙色が非常にきれいでした。



クロリテントウダマシ *Endomychus gorhami kyushuensis* 本種の赤紋出現型は初めて見ました。

薄ぼんやりと上翅肩部に赤紋が見えます

クロリテントウダマシはカワラタケ類がついた朽木から数10頭採れ、3~4頭に赤紋が出た型がいました。



キスジテントウダマシ *Endomychus plagiatus* は先号で紹介したクロアリツカエンマムシと一緒に右の朽木のスプレイングで採りました。斑紋の変異が多い種ですが、ここで採れたものは変異種がほとんどで通常型はいませんでした。



## ハラグロオオテントウ 羽化最盛期

6月中旬頃から市内各地の桑の木を探して見ましたら数ヶ所のマグワの葉に幼虫や蛹がついていました。



大山町の県道沿いのマグワと葉上の幼虫と蛹、羽化直後のハラグロオオテントウ *Callicaria superba* と数時間後の成虫

20年ほど以前には桑畑でいくらかでも採れていた本種も桑畑の減少につれて少なくなっていますが、平地の桑の木を見て回ると意外と採れます。蛹で採るのが一番確実ですね。